

## 概要

溶接では加熱による熱膨張と収縮により、亀裂や変形の原因となる残留応力が発生する。

特に熱影響部では急激な応力変化が見られ、割れなどの溶接不良の原因となりうる。

⇒溶接による残留応力状態を把握するために、広い範囲の残留応力分布が一目でわかるマッピング測定が有効

## ≪評価例≫ 鋼材の溶接熱影響部の応力分布

### 適用

- ・ 溶接部近傍の応力分布調査
- ・ 曲げ加工材の応力分布調査
- ・ 電磁鋼板の応力除去効果の確認

### 特徴

- ・ 面方向の応力分布が測定可能
- ・ X線により 非破壊 で分析可能
- ・ 深さ数10 $\mu$ mまでの 試料表層 を評価

